

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	医療法人社団葵会　ＡＯＩ名古屋病院
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	愛知県名古屋市東区泉二丁目2番5号
工場等の名称	医療法人社団葵会　ＡＯＩ名古屋病院
工場等の所在地	愛知県名古屋市東区泉二丁目2番5号
業種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	医療及び健康管理業務
計画期間	令和4年4月1日　～　令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年8月29日　～　令和6年11月27日		
公表方法		掲 示 閲 覧	（場　所）
	○	ホーム ページ	（HPアドレス）　http://www.aoikai.jp/aoinagoya/
		冊　子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-932-7151		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

- 1 省資源・省エネルギーの活動を推進します。
- 2 空調温度の適正化。
- 3 誘導灯器具及び照明器具のリニューアル時にはＬＥＤ化
- 4 廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを積極的に推進します。
- 5 職員への環境教育の啓発に取り組みます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

・ 幹部職員が参加している運営会議等において、施策の推進状況や取組状況（空調の弾力運転、誘導灯及び照明のＬＥＤ器具への取替）について情報共有を図る等、院内全体で意識統一を行いながら推進を図っていく。

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1, 239	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガス 素換排 算）出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二室素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	1, 239	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス 総 排 出 量	1, 434	t-CO ₂	1, 405	t-CO ₂	1, 436	t-CO ₂	1, 239	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			2. 0	%	▲ 0. 2	%	13. 6	%	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%	%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
原単位あたりの 排 出 量									
削減率（対 基準年度）				%		%	%		%
原単位あたりの みなし排出量									
削減率（対 基準年度）						%	%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

・病院館内施設設備などが既に30年近く経過し経年が進んでおり、なかなか厳しい状況であるが空調システムの入替により都市ガス使用量が減少し目標を大きくクリアすることができた。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理/エネルギー使用量等の把握及び管理	・エネルギー使用量の把握・計測・記録・分析 ・使用実績の見える化”		院内で使用状況の見える化を進め始めている。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	・設備の運転時間、温度（冷房28℃、暖房20℃）、外気導入量を管理 ・ブラインドによる遮光にて気温の上昇を緩和させる。 ・冷暖房期間（時間帯）の設定		病棟の空調システムを入替え過渡期である。
省エネルギー・省資源の推進/照明	・昼休みや残業時に不必要な照明を消す。 ・外来及び事務所等の照明の間引きを行う。 ・蛍光灯を順次LEDに更新		館内の蛍光灯をLED照明に一部入れ替えた。（継続入替中）
省エネルギー・省資源の推進/OA機器	・離席時にはスリープ機能を活用 ・退社時や外出時は、可能な限りパソコンや事務用機器の主電源を切り、待機電力を削減		・事務部は退社時・外出時にパソコンOA事務機器の主電源を切ることを徹底している。
省エネルギー・省資源の推進/その他	・エレベーターの台数制御（日・祝日等休診日）		現時点では難しく対応できていない。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・電子共有フォルダの利用等によるペーパーレス化⇒継続実施中である。 ・両面コピー及び裏紙利用等による可能な限りペーパー使用量の削減⇒継続実施中である。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

・定時退社に努める⇒継続推進中である。 ・自動車は不必要なアイドリングを無くし可能な限りの利用を控える⇒継続実施中である。
